

科学館(プラネタリウム含)における新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る実施方針について

第3版

1 施設の再開にあたって

施設の利用再開にあたっては、感染が広がることのないよう、高齢者や基礎疾患のある方に配慮しつつ、密閉、密集、密接の「三つの密」を避けるための対策を実施するとともに、利用者の皆さまにおかれても、マスクの着用をはじめ、健康チェックや手洗い・うがい等の徹底をお願いします。

また、今後も、市内の患者の発生状況や新たな知見の確認、国・県・近隣市等の動向を踏まえ、柔軟に対応してまいります。

2 「三つの密」を避けるための対策

(1) 換気の励行(密閉空間の回避)

展示場は館内空調により、必要な換気を実施します。プラネタリウムにおいては、一日の番組数を減らし、番組と番組の間に2方向の扉を同時にあけ、大型扇風機などを利用し、換気を実施します。

(2) 人の密度を下げる(密集場所の回避)

展示場内の一定箇所に入館者の集中が見られる場合は、職員が注意喚起の声掛けを行います。館内の混雑具合により、入館制限をする場合があります。

プラネタリウムについては、人が座る場所を指定し、お互いの距離(家族等のグループごとの間隔)を1～2m程度開け、人の密度を減らします。

(3) 近距離での会話や発声、高唱を避ける(密接場面の回避)

周囲の人が近距離で発声するような場を避けてください。やむを得ず近距離での会話が必要な場合には、自ら飛沫を飛ばさないよう、マスクの着用や咳エチケットの徹底をお願いします。

3 利用者の安全確保について

(1) 入館前に検温を実施します。発熱のある方はご入館をご遠慮いただきます。

(2) 以下について呼びかけを実施します。

- ・利用前、利用後など、流水や石鹸によるこまめな手洗いなどの徹底
- ・咳エチケットの注意喚起
- ・マスクの着用

上記のご対応ができない場合は、来館をお控えください。

(3) 当館で感染者が発生した場合は、ホームページでお知らせをしますので、後日確認ができるよう各自で来館の日時を記録しておいてください。千葉市コロナ追跡サービスを積極的にご活用ください。

4 職員の安全確保について

施設の職員に対し、以下の対応を実施します。

- 出勤前の検温の実施
- 発熱や体調不良があった場合の出勤停止と医療機関受診
- 咳エチケット、マスクの着用、こまめな手洗いなどの徹底

5 施設管理について

施設の管理について、以下の対応を実施します。

- プラネタリウムについては、定期的な換気の実施(1時間に1回程度)
- 利用者が密集しないための利用者同士の間隔の確保(1～2m程度)
- 券売機、トイレ、ドアノブなど多くの人が触れる場所や、利用後の諸室の消毒
- 三密が発生しやすいワークショップ及び一部の展示は当面の間、休止